



祝！農林水産大臣賞！！

3月8日に開催された全国青年農業者会議において、下館4Hクラブの杉山善昭氏がプロジェクト発表の土地利用型作物部門で農林水産大臣賞を受賞しました。

同会議は全国の青年農業者の代表で組織される全国農業青年クラブ連絡協議会が主催し、本年で55回目の開催となりました。本年はプロジェクト発表4部門と意見発表の5部門において各地区ブロックの代表31組が発表し、農林水産大臣賞5点、農林水産省生産局長賞5点をはじめ、15点が受賞しました。



農林水産大臣賞に輝いた杉山さん

杉山氏の発表は、水稻乾田直播栽培における栽培技術の確立と省力化やコスト削減を目指した内容であり、大規模経営体における課題と、乾田直播栽培に取り組む目的と結果が明確であること、発表姿勢が堂々としており、質疑に対する回答も的確であったことが評価され、今回の受賞となりました。

杉山氏は仲間の4Hクラブ員のほ場においても乾田直播栽培を実演したり、他地域からの視察も受け入れるなど、地域へ貢献しています。今後も、産地のリーダーとしてより一層活躍されることが期待されます。



応援に駆けつけた下館・関城4Hクラブ員

こだまスイカパンフレットが新しくなりました！

筑西・桜川こだまスイカ産地女性の会では、生産量日本一の産地として、おいしい食べ方等を紹介するこだまスイカのパンフレットをリニューアルしました。直売所等で見かけた際には、お手にとってご覧下さい。



新パンフレット

「こだまスイカの里筑西・桜川」の知名度UPのためのPRキャンペーンも始まります。みんなでこだまスイカを買って黒こだまやスイカグッズを当てましょう。

こだまスイカLOVE



黒こだま

ストラップ。

営農情報 ～晩霜害対策について～

気象予報の**予想最低気温**をよく確認し、被害を受けやすい圃場や地域では十分な準備を行いましょう。

（果樹）

○燃焼法

…霜害が発生しやすい未明の時間帯に火勢が落ちないように十分注意しましょう。また、煙など周辺環境には十分配慮してください。

○多目的防災網の展張 （サイドは開放する）

…0.5℃程度の昇温効果があるとされています。積雪の危険がないことを確認した上で、早めに展張しましょう。

※凍霜害予防として、ゼオライトに肥料を添加した資材も販売されていますが、散布する場合は前日の昼（午後3時頃までに）に散布しましょう。

（露地・施設野菜）

○播種について

…早まきは、日照、地形など、凍霜害の受けにくい場所を選びましょう。

○被覆資材の使用

…播種後、定植後はトンネル被覆やべたがけなどにより被害を回避します。外気温が-3度に下がるとトンネル被覆だけでは-1度程度となり、被害を受けやすくなります。夕方早めに密閉するなどして保温に努めましょう。また、保温資材を使用することも効果的です。

○施設内気温の確保

…施設野菜の場合、施設内気温をトマト、イチゴは5度、キュウリ、ナス、スイカは10度を確保するようにし、夕方は早めに密閉しましょう。

ナシ樹体ジョイント仕立てを学ぶ！

3月14日、下妻市果樹連と県ナシ産地改革支援協議会の共催によるナシ樹体ジョイント仕立て研修会が開催されました。会場の実証圃は、昨年ジョイントを実施した若木約200本と、今春ジョイントを行う予定の苗約200本が植えられており、県内で最も早く、かつ大規模にジョイントに取り組んでいるほ場です。

研修では、農業総合センターの果樹担当専門技術指導員と当部門職員が、ジョイント技術の概要や取り組む際のポイント、実証圃の管理の経過等を説明し、また実際に接ぎ木作業の実演を行いました。園主からも、実際の作業で気づいたことや苦労などをお話していただきました。

雨が強く降り続くあいにくの天気ではありましたが、参加者からは管理作業等について活発な質疑や意見交換が行われ、良い研修会となりました。



普及員のひとごと…谷口 諒人

昨年4月に県職員として就職し、早1年がたちました。当地域には農産物がたいへん多く、巡回を通してさまざまな品目や風景を見ることができ、新鮮な毎日を過ごすことができました。次年度からは2年目ということに加え、専門も決定するので、少しでも成長できるように勉強していきたいと思えます。引き続きご指導をよろしくお願ひいたします。